

◆ 今週のコメント

- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(90歳代女性, 80歳代男性)あり, 本年の累積報告数は31例となっています。症状は発熱・咳・肺炎・菌血症などです。推定感染地域は国内で, 推定感染経路は飛沫・飛沫核感染です。
- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は9.60(403例)となり, 第19週(前々週)から過去5年平均値を上回る状態が続いています。手洗いなどにより感染を予防しましょう。
予防方法等詳細については下記URLを御参照ください。
○健康安全課ホームページ「感染性胃腸炎に注意!!」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000046226.html>
- ・ 手足口病の定点当たり報告数は3.31(139例)となり, 前週の3.33(140例)と同様, 過去5年平均に比べてかなり高い値で推移しています。例年6月頃から本格的な流行期を迎えます。流行が拡大しないように, 手洗いなどの予防策をしっかりとってください。
京都市では, 手洗い方法や手足口病のリーフレットを発行しています。印刷・配布など, 積極的に御活用ください。
○京都市衛生環境研究所ホームページ「手洗いの方法」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/tearai.pdf>
○こどもの感染症リーフレット「手足口病」(衛生環境研究所)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/teashikutibyou.pdf>

◆ 今週のトピックス: <咽頭結膜熱>

- ・ 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は, 京都市0.69, 全国0.91となり, それぞれ前週から増加, 過去5年平均値の年間を通しての最高値(京都市0.62, 全国0.69)をすでに上回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 8例(肺結核 5例, 潜在性結核感染者 1例, その他結核 2例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 148例(肺結核 76例, その他結核 17例, 潜在性結核感染者 55例)うち喀痰塗抹陽性 37例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 31例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.22	15
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	9.60	403
	② 手足口病	3.31	139
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.07	87
	④ 咽頭結膜熱	0.69	29
	⑤ 突発性発しん	0.45	19
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

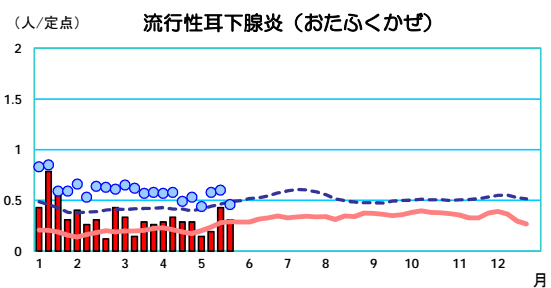
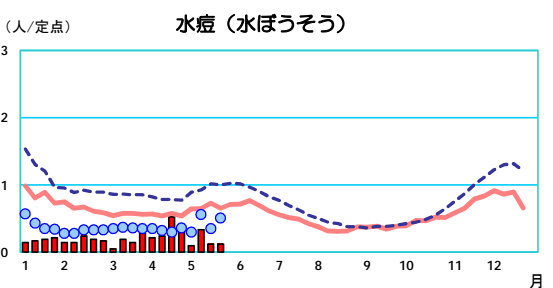
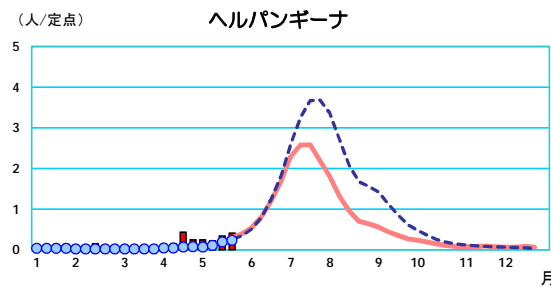
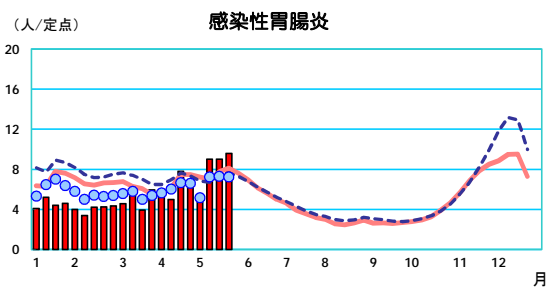
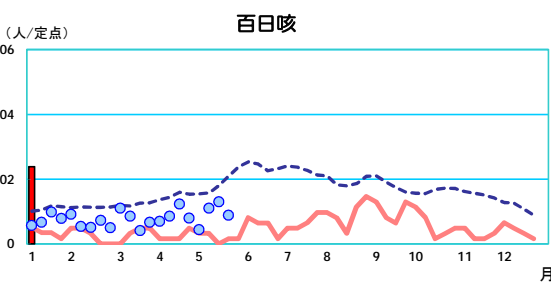
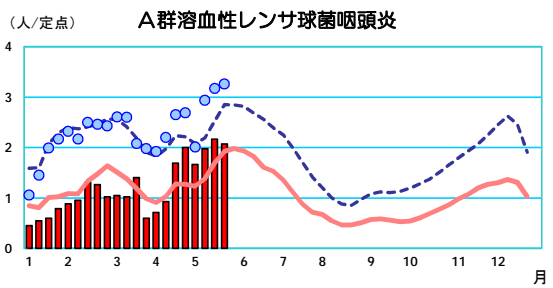
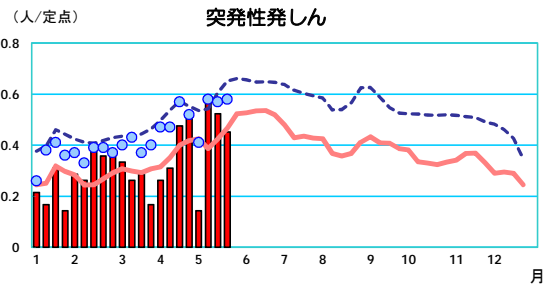
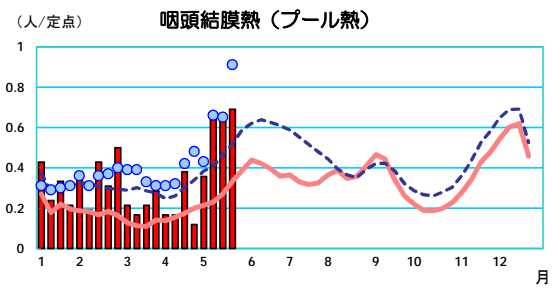
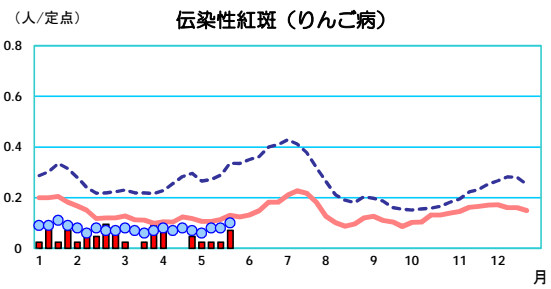
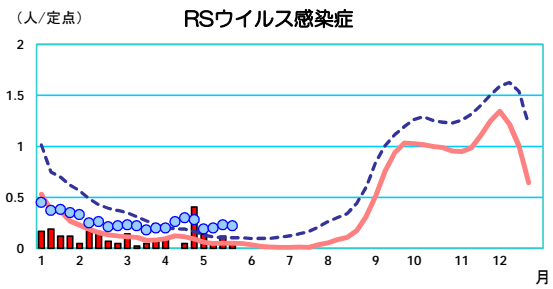
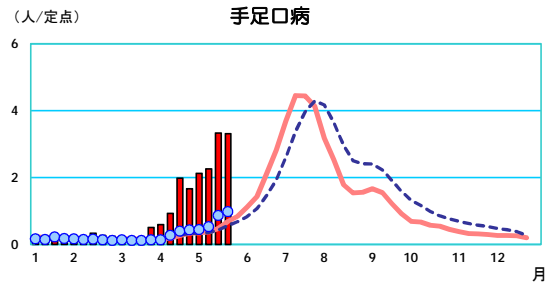
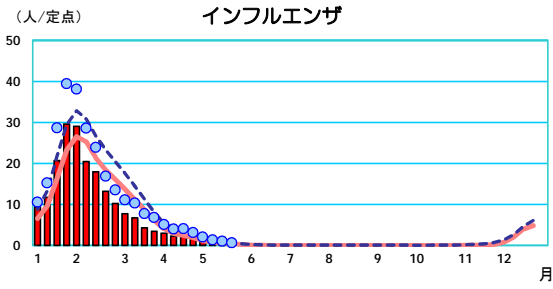
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <咽頭結膜熱>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成29年5月31日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第21週(5月22日～5月28日)トピックス: <咽頭結膜熱>

発生動向

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、京都市0.69、全国0.91となり、それぞれ前週から増加、過去5年平均値の年間を通しての最高値(京都市0.62、全国0.69)をすでに上回っています(図1)。都道府県別では前週と比べ、40の都道府県で増加、近畿でも和歌山県以外の府県で増加が見られます(図2)。本疾患の年齢階級別割合では、例年、小学校就学前の乳幼児が全報告数の約80%を占め、本年は約90%を超えています(図3)。小児の集団生活施設である保育所、幼稚園等での集団発生の可能性もあります。咽頭結膜熱は、例年6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月に流行のピークを迎えます。流行期を控え、報告数がさらに増加する可能性がありますので、今後の発生状況に十分注意してください。

症状

主な症状は発熱、咽頭炎、結膜炎であり、潜伏期間は5～7日間、有症状期間は3～5日間です。特に治療方法はなく、対症療法が中心となります。

予防

本疾患の原因となるアデノウイルスは、感染力が非常に強く、手指を介したり飛沫により感染するので、タオルの共用は避け、流水と石けんによる手洗いやうがいを行うことが重要です。また色々な消毒剤に対して比較的高い抵抗性を持つウイルスですので、器具に対しては煮沸、塩素系消毒剤が有効です。

図1 本市の定点当たり報告数の推移

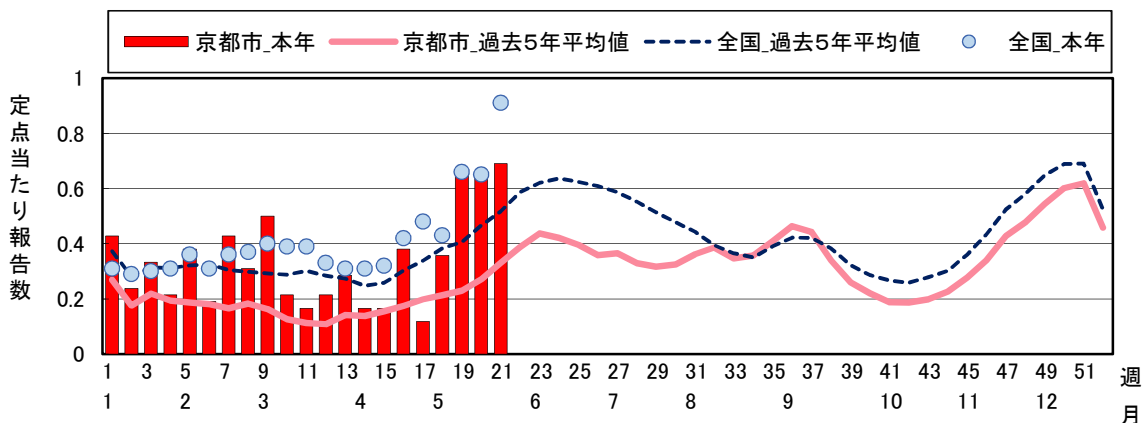


図2 都道府県別定点当たり報告数の推移

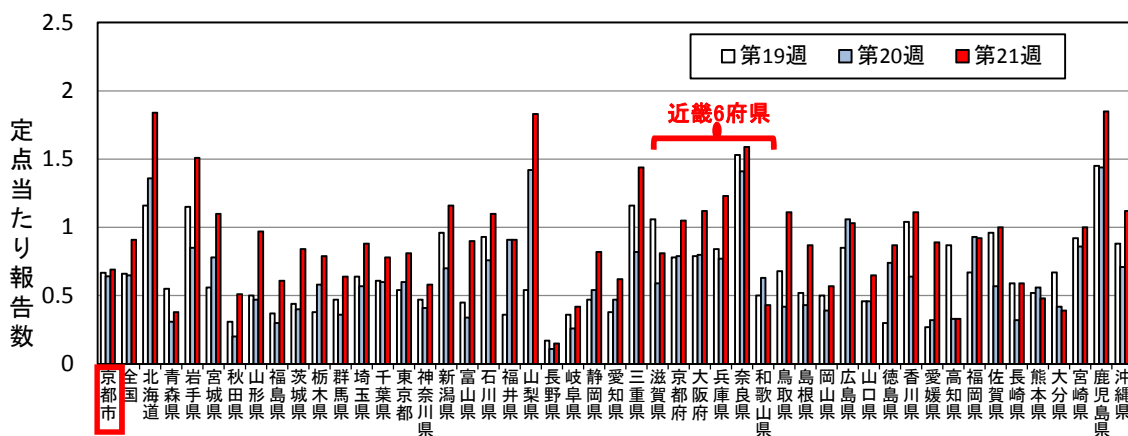
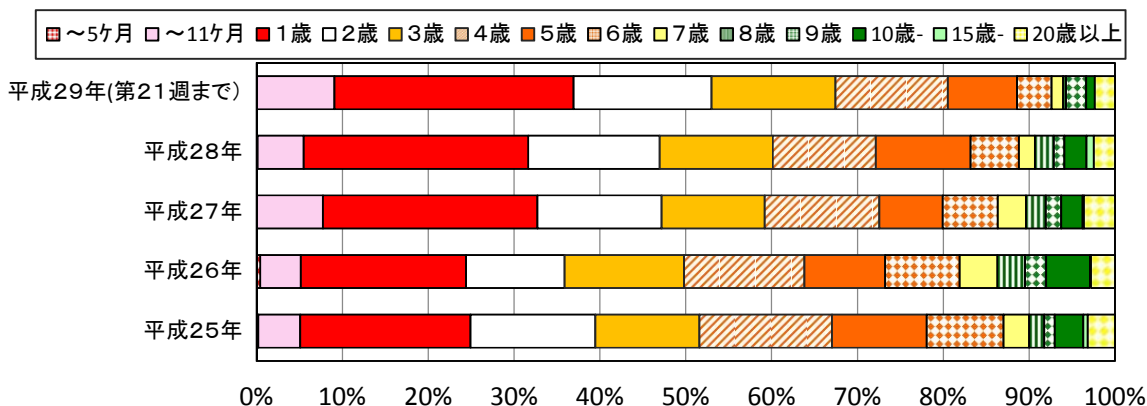


図3 本市の年齢階級別割合の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第21週

疾病,行政区別報告数

平成29年5月22日～平成29年5月28日

データ入手日:平成29年5月31日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																				
北	-	-	1	1	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
上京	-	1	8	6	9	-	5	-	-	-	-	-	-	-						
左京	6	-	-	8	42	-	17	-	2	-	1	-	-	-						
中京	-	-	-	5	18	1	5	1	-	-	3	4	-	1	-	-	-	-	-	-
東山	4	-	-	1	30	-	3	-	1	-	-	-	-	-						
山科	-	-	4	5	12	1	10	-	2	-	1	2	-	-						
下京	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	4	2	38	-	12	-	-	-	5	1	-	-						
右京	4	1	6	32	94	-	27	1	5	-	-	3	-	3						
伏見	1	-	5	21	79	3	45	-	6	-	-	1	-	-						
西京	-	-	1	6	71	-	12	1	3	-	7	2	-	-						
京都市計	15	2	29	87	403	5	139	3	19	-	17	13	-	4	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																				
北	-	-	0.25	0.25	1.75	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-						
上京	-	0.33	2.67	2.00	3.00	-	1.67	-	-	-	-	-	-	-						
左京	0.86	-	-	2.00	10.50	-	4.25	-	0.50	-	0.25	-	-	-						
中京	-	-	-	1.67	6.00	0.33	1.67	0.33	-	-	1.00	1.33	-	0.50	-	-	-	-	-	-
東山	1.33	-	-	0.50	15.00	-	1.50	-	0.50	-	-	-	-	-						
山科	-	-	1.00	1.25	3.00	0.25	2.50	-	0.50	-	0.25	0.50	-	-						
下京	-	-	-	-	1.50	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	1.33	0.67	12.67	-	4.00	-	-	-	1.67	0.33	-	-						
右京	0.50	0.20	1.20	6.40	18.80	-	5.40	0.20	1.00	-	-	0.60	-	3.00						
伏見	0.09	-	0.71	3.00	11.29	0.43	6.43	-	0.86	-	-	0.14	-	-						
西京	-	-	0.20	1.20	14.20	-	2.40	0.20	0.60	-	1.40	0.40	-	-						
京都市計	0.22	0.05	0.69	2.07	9.60	0.12	3.31	0.07	0.45	-	0.40	0.31	-	0.40	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第21週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年5月22日～平成29年5月28日

データ入手日:平成29年5月31日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	15	-	-	-	2	1	1	1	-	1	-	3	-	1	-	1	4	-	-	-	-
RSウイルス感染症		2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		29	-	2	12	2	3	5	-	1	2	-	-	1	-	1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		87	1	-	4	7	12	13	14	13	5	4	5	5	-	4						
感染性胃腸炎		403	7	42	77	50	46	36	22	19	21	13	8	23	6	33						
水痘		5	-	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
手足口病	年齢3	139	1	19	68	29	7	6	1	-	1	1	1	2	-	4						
伝染性紅斑		3	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		19	-	3	12	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		17	-	5	5	4	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		13	-	-	-	1	2	-	1	2	1	1	1	3	-	1						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	1
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.22	-	-	-	0.03	0.01	0.01	0.01	-	0.01	-	0.04	-	0.01	-	0.01	0.06	-	-	-	-
RSウイルス感染症		0.05	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.69	-	0.05	0.29	0.05	0.07	0.12	-	0.02	0.05	-	-	0.02	-	0.02						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.07	0.02	-	0.10	0.17	0.29	0.31	0.33	0.31	0.12	0.10	0.12	0.12	-	0.10						
感染性胃腸炎		9.60	0.17	1.00	1.83	1.19	1.10	0.86	0.52	0.45	0.50	0.31	0.19	0.55	0.14	0.79						
水痘		0.12	-	0.02	0.05	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-						
手足口病	年齢3	3.31	0.02	0.45	1.62	0.69	0.17	0.14	0.02	-	0.02	0.02	-	0.05	-	0.10						
伝染性紅斑		0.07	-	-	-	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.45	-	0.07	0.29	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.40	-	0.12	0.12	0.10	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		0.31	-	-	-	0.02	0.05	-	0.02	0.05	0.02	0.02	0.02	0.07	-	0.02						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	0.10	-	-	-	0.10
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第21週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年5月31日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	155	177	71	45	22	15
RSウイルス感染症	2	17	6	2	5	2
咽頭結膜熱	16	5	15	28	27	29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71	84	70	83	91	87
感染性胃腸炎	327	287	227	378	379	403
水痘	22	13	4	14	5	5
手足口病	83	70	89	95	140	139
伝染性紅斑	-	2	1	1	1	3
突発性発しん	20	22	6	24	22	19
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	18	10	10	9	14	17
流行性耳下腺炎	12	12	6	8	18	13
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	3	2	6	3	4
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	733	702	507	693	727	736

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	2.25	2.57	1.03	0.65	0.32	0.22
RSウイルス感染症	0.05	0.40	0.14	0.05	0.12	0.05
咽頭結膜熱	0.38	0.12	0.36	0.67	0.64	0.69
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.69	2.00	1.67	1.98	2.17	2.07
感染性胃腸炎	7.79	6.83	5.40	9.00	9.02	9.60
水痘	0.52	0.31	0.10	0.33	0.12	0.12
手足口病	1.98	1.67	2.12	2.26	3.33	3.31
伝染性紅斑	-	0.05	0.02	0.02	0.02	0.07
突発性発しん	0.48	0.52	0.14	0.57	0.52	0.45
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.43	0.24	0.24	0.21	0.33	0.40
流行性耳下腺炎	0.29	0.29	0.14	0.19	0.43	0.31
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.70	0.30	0.20	0.60	0.30	0.40
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	16.54	15.29	11.56	16.54	17.33	17.69

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。